

小学校第1学年 算数科学習指導案

1 単元名 3つのかずのけいさん

2 単元について

本単元は、3つの数の加減計算の仕方を理解し、それらを用いることができるようにすることをねらいとしている。3つの数の計算を前から順に計算することで、既習の2つの数の計算に帰着させて考えられるようにすることが大切である。すなわち、 $3 + 2 + 4$ は $5 + 4$ に、 $9 - 1 - 3$ は $8 - 3$ に、それぞれ帰着し、計算できるようにする。また、場面を操作や式に表す活動、答えが10になる3つの数の加法の式を考える活動などを通して、3つの数の加減計算の意味理解を深めていけるようにする。

児童はこれまで2つの数についての加減計算を学習してきたので、3つの数の加法や減法の式を立てることに抵抗感をもつことも予想される。そこで、教科書の絵を見ながら、場面を順次示し、問題場面のおりに算数ブロックを操作したり、式に表したりできるようにしていく。

3 単元の目標

- 3つの数の加減計算の場面を1つの式に表すことよさに気付く。【関心・意欲・態度】
- 2つの数の加減や減法を基に、3つの数の計算の仕方を考え、表現することができる。【数学的な考え方】
- 3つの数の加減計算の場面を1つの式に表し、その計算が確実にできる。【技能】
- 2つの数の加減計算を基に、3つの数の加減計算ができることを理解する。【知識・理解】

4 単元の指導計画と評価規準

時	○目標 ・学習活動	評価規準
1 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの数の加法の式の意味を理解し、その計算をすることができる。 ・絵を見て、式を考える。 ・3つの数の加法の場面を1つの式に表す。 ・2つの数の加法計算を基にして、3つの数の加法計算の仕方を考え、計算する。 	<p>考：2つの数の加法を基に、3つの数の加法計算の仕方を考え、説明している。</p> <p>技：3つの数の加法の場面を1つの式に表し、計算をすることができる。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの数の減法の式の意味を理解し、その計算をすることができる。 ・絵を見て式を考える。 ・3つの数の減法の場面を1つの式に表す。 ・2つの数の減法計算を基にして、3つの数の減法計算の仕方を考え、計算する。 	<p>関：問題場面から数量の関係を読み取り、3つの数の減法の場面を1つの式に表そうとしている。</p> <p>技：3つの数の減法の場面を1つの式に表し、計算をすることができる。</p>

3	<p>○ 3つの数の加減混合の式の意味を理解し、その計算をすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵を見て式を考え、解決する。 ・3つの数の加減混合計算の場面を1つの式に表す。 ・3つの数の加減混合計算の仕方を考え、計算する。 	<p>考：2つの数の加法や減法を基に、3つの数の加減混合計算の仕方を考え、説明している。</p> <p>技：3つの数の加減混合計算ができる。</p>
4	<p>○ 答えが10になる3つの数の加法の式を考える活動を通して、3つの数の計算の理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$\square + \square + \square = 10$になる式を考える。 ・$\square + \square + \square = 9$になる式を考える。 	<p>考：3つの数の加法計算で、和が10になる式を考え、説明している。</p> <p>知：3つの数の加減計算の意味や仕方を理解している。</p>

5 人権指導上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）
友達の考えをよく聞き、それを尊重できるようにする。

6 人権教育上の視点

(1) 友達の考えを受け入れながら、進んで課題解決をしようとする。(価値・態度)

7 本時の学習指導 本時(1/4)

(1) 目標

- 2つの数の加法を基に、3つの数の加法計算の仕方を考え、説明する。(数学的な考え方)
- 3つの数の加法の場面を1つの式に表し、計算をすることができる。(技能)

(2) 展開

◎人権教育上の配慮

学習活動	主な発問(☆) 予想される児童の反応(・) 留意点(○)	評価規準(□) 支援(→)
1 挿絵から本時の問題場面を捉え、1つの式に表す。	<p>☆どんなお話になっているでしょうか。絵を見てお話してみましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに、ねこが3匹バスに乗っています。 ・次に、2匹バスに乗りました。 ・最後に、4匹バスに乗りました。 ・ねこはみんなで何匹になりましたか。 <p>○3コマの挿絵を1コマずつ見せて、場面が3つあり、ねこが順次増えていることが確認できるようにする。</p> <p>○「はじめに」「次に」「最後に」を板書し、時間の経過が分かりやすいようにする。</p> <p>☆お話に合わせてブロックを動かしてみましよう。</p> <p>① □□□ ←□□</p> <p>② □□□ □□ ←□□□□</p>	

	<p>○3つの場面に合わせて順番にブロック操作させる。</p> <p>○挿絵と対応させながら、2回足されていることをしっかり捉えられるようにする。</p> <p>☆何算ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増えているので足し算。 ・「みんなで」と聞いているので、足し算 <p>☆今までの足し算と違うところはどんなところですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回増えている。 ・2回足している。 	
<p>おはなしを 1つの しきに あらわそう。</p>		
<p>2 見通しをもつ。</p>	<p>☆お話を1つの式に表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに3匹乗っていて、次に2匹増えて、最後に4匹増えるから、「+」を2回使って、$3 + 2 + 4$と書くことができる。 ・お話の順に書いていく。 	
<p>3 計算の仕方を考え、発表する。</p>	<p>3つのかずの たしざんのしかたを かんがえよう。</p>	
<p>(1)自力解決をする。</p>	<p>☆まずは、一人で答えを出してみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$3 + 2 + 4 = 9$ こたえ 9ひき ・ブロック操作で答えを求める。 	
<p>(2)ペアで説明し合う。</p>	<p>☆どのように答えを出したかを隣の人に説明しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに3匹いて、次に2匹増えたから、$3 + 2 = 5$になる。最後に4匹増えたので、$5 + 4 = 9$になる。 ・ブロック操作しなら説明する。 ・計算の仕方を式で説明する。 	<p>◎ペアで説明し合うように伝え、互いの考えのよさに気付けるようにする。(価値・態度)</p>
<p>(3)学級で話し合う。</p>	<p>☆自分の考えを発表しましょう。自分の考え方と同じところを見付けながら聞きましょう。</p> <p>○計算の仕方と挿絵やブロック操作と対応させながら、説明させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話の順番に計算している。 	<p>考 2つの数の加法を基に、3つの数の加法計算の仕方を考え、説明している。(発表・ノート)</p>

<p>4 本時のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前から順に計算している。 ○教師が、誤答を示し、どこが違うのかを話し合うようにする。 誤答 $3 + 2 = 5 + 4 = 9$ ・一つの式に「=」が2つあるのはおかしい。 ・$3 + 2$と$5 + 4$は同じではない。 ・この場合は、$3 + 2 = 5$ $5 + 4 = 9$ のように式を2つに分けなければいけない。 ○2つの式に分けた場合と、1つの式にまとめた場合を比較し、1つの式に表すよさに気付けるようにする。 	<p>→2回増えたことが分かるように、はじめの数から増えて、さらに増えているということをブロック操作で明確にしながら考えさせる。</p>
<p>3つのかずのたしざんは、まえからじゅんばんにけいさんしていけばよい。</p>		
<p>5 適用問題を解く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆計算練習をしましょう。 ① $2 + 4 + 1$ ② $9 + 1 + 3$ ③ $4 + 6 + 2$ ○必要に応じて、ブロック操作したり、「○と○を合わせて○。その○に○をたして○。」と説明したりしながら、解決するように助言する。 	<p>技 3つの数の加法の場面を1つの式に表し、計算することができる。(観察・ノート)</p> <p>→計算につまずきがある場合、はじめの2つの数に計算が分かるように印を付れたり、計算途中の答えを小さくメモしたりするよう助言する。</p>
<p>6 本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆今日の授業を振り返って、分かったこと、新たに気付いたことなどを書きましょう。 ・3つの数があっても、お話の順に式にすることができることが分かった。引き算のときも1つにできるのかなと思った。 	